

かていがくしゅう てび
家庭学 習の手引き

かみかつしょうがっこう
上勝小学校

ていがくねん
低学年

がく
※学しゅうをはじめるまえに

1	テレビが、きえている。
2	つくえの上 ^{うえ} は、かたづいている。
3	がっこう ^{がっこう} からの手 ^て がみ ^{がみ} を、いえ ^{いえ} の人 ^{ひと} にわたす。
4	「わたしのくらし」で、しゅくだいを、たしかめる。



かていがくしゅう じかん
家庭学 習の時間のめやす

ていがくねん ぶんいじょう
低学年は、20分以上

がく
※学しゅうをはじめましょう

しゅくだいについて

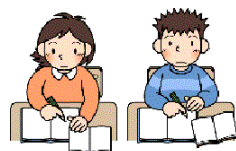
○まずは、じぶん^{ちから}の力^{ちから}でやってみましょう。

○わからないときは、

①きょうかしょで しらべましょう。

②おうち^{ひと}の人^{ひと}に ときかた^きを聞きましよう。

③がっこう^{がっこう}で、せんせい^{せんせい}やともだち^{ともだち}に ときかた^きを聞きましよう。



がく
※学しゅうがおわったら

【1】しゅくだいが、ぜんぶできたかをたしかめて、つぎのひ^ひのじかんわりをしましよう。

①ふではこの中^{なか}をチェックしましよう。

□ けずったえんぴつ^{ほん} 5本 □ 赤えんぴつ^{あか} 1本^{ほん}

□ けしゴム 1こ □ ものさし 1つ (□ ネームペン^{ほん} 1本)

②わすれものがないか、じぶんでもう1ど「わたしのくらし」を見てみましよう。

【2】お手が^てみのへんじなどがあれば、じゅんぴをしてもらいましよう。

※おせわになったら「ありがとう」と かんしゃの気持ちをつたえましよう。

じしゅ^{がく}学しゅうについて

- ①できるだけ、まい日^{にち}しましょう。
- ②ノートのはじめにきょうの日づけ(〇月〇日〇よう日^び)を書^かきましょう。
- ③文字^{もじ}やいろぬり、せんなどは、ていねいにかきましょう。
- ④下^{した}のひょうのようなじしゅ^{がく}学しゅうをしましょう。

国語	かんじ 漢字 ^{ただ}〇正しいしせいで、ひつじゅんや文字^{もじ}のかたち^かにきをつけて書こう。 〇しゅくだい^{かんじ}いがいの漢字もど^かんどん書こう。 ししや 視写 ^{きょうかしよ ほん ぶん}〇教科書や本などの文をうつそう。
算数	〇まちがったもん^{い もの}だいやきょうかしよをもういちどやってみよう。 〇じぶんでもん^{い もの}だいをつくってしてみよう。
生活	〇生き物^{い もの}やくさばなのかんさつを、してみよう。 〇ふしぎにおもったことを、しらべてかいてみよう。
そのた	〇いえにあるもん^{い もの}だいしゅうを、してみよう。 おんどく 音読 〇「、」や「。」に^き気をつけて、おおきな^{おお こえ}声ですらすら^よ読めるようにしよう。 〇おぼえるぐ^{なんど}らい何^よ度も読もう。 どくしよ 読書 〇いえにある本^{ほん}だけでなく、がっこうやとしょ^{がっこう}かんでかりた本^{ほん}も^よ読もう。 〇おなじ本^{ほん}をくりかえし^よ読んでみよう。 にっき 日記 〇じぶんがした^みことや見つけたことなどを、「は」「を」「へ」「っ」「、」「。」やかぎ^きかっこ「」に^き気をつけながら^か書こう。 〇ていねいな文字^{もじ}で、ならったかん^し字をできるだけ^かつかって書こう。